

日本版デュアルシステムへご参加ください

企業が求める若手人材を発掘して育ててみませんか

- 東京都中央会 -

若年者の雇用において、高い失業率、無業者・フリーターの増加、高い離職率等、さまざまな問題が指摘されています。これは、若年者本人のキャリア形成の支障となるだけでなく、社会の技術・技能の蓄積に支障をきたし、中長期的な産業活力の低下を招くおそれがあるといわれています。さて、平成16年度より厚生労働省と文部科学省が連携し、若年者を一人前の職業人に育てるための新たな職業訓練制度として、「日本版デュアルシステム」が開始されました。これは、企業における実習訓練と専修学校等における座学とを組み合わせた人材育成プログラムであり、ひとことでいえば、「働きながら学ぶ、学びながら働く」という制度です。このたび、東京都中小企業団体中央会では、独立行政法人雇用・能力開発機構より、日本版デュアルシステム・コーディネート事業の実施を受託することになりました。中央会としても企業が求める即戦力人材の育成に向けて本事業が有効であると判断し、会員の皆様に日本版デュアルシステムへのご参加をお願いするとともに、参加される企業の皆さまを支援させていただく次第です。

日本版デュアルシステムとは・・・

若年者を一人前の職業人に育てる新たな人材育成プログラムのことで、ひとことでは「働きながら学ぶ、学びながら働く」という制度です（平成16年度より厚生労働省が全国で開始）。具体的には、企業での実習訓練と、専修学校や公

共職業訓練施設等における座学とを組み合わせを行い、終了時に能力評価を行います。

従来の職業訓練と比較した日本版デュアルシステムの特徴は以下のとおりです。

・実務能力の涵養を重視する観点から、

企業における実務訓練が大幅に取り入れられる。

- ・職業「体験」ではなく終了後の「就業」という確固たる目的を持つ。
- ・訓練終了後には能力評価を行い、実践力を確かなものにする。

なお、企業における実習訓練には、企業との雇用関係を伴わない訓練（企業実習）と、有期パート等の雇用関係を伴う訓練（OJT）の両方が含まれます。

企業にはこんなメリットがあります・・・

就職意欲を持った若い人材を比較的容易に確保し、あなたの会社や求める即戦力を育成することができます。

実習あるいは有期パート等で能力と適正を見極めて、正規雇用につなげられます。

企業の繁閑にあわせた要員計画に沿って訓練生を受入れることにより、訓練を実施しつつ若いフレッシュな人材を貴重な労働力として活用することができます。

教育訓練機関で体系的な知識や技能と並行して習得させることにより、企業の訓練コストを下げることができます。

訓練生を戦力化するのと同時に、指導する立場の従業員を育成することがで

きます。

修了時の能力評価により、能力が保証された人材を採用することができる。

教育訓練を外部機関で実施することで訓練の負担を軽減しつつ体系的な知識や技能を習得させることができる。

（訓練コストを減らせる）

企業及び教育訓練機関に対する支援措置

企業が対象若年未就職者を雇用し、デュアルシステムによる訓練を行う場合には、事業主に対して、キャリア形成促進助成金（訓練給付金）の高率助成を行うとともに、これに要する計画策定費を助成することとし、デュアルシステムの実施する企業を支援します。

【教育訓練機関における訓練に係わる賃金・訓練費用を負担する事業主】

訓練経費及び賃金の助成

企業が対象若年未就職者等を雇用し、デュアルシステムによる訓練を行った場合には、キャリア形成促進助成金における訓練経費及び賃金の助成率を以下のとおり引き上げて支給。

中小企業	1 / 3	1 / 2
大企業	1 / 4	1 / 3

【日本版デュアルシステムを新たに実施する事業主】

対象若年未就職者職業訓練実施計画策

定経費

企業が対象若年未就職者を雇用し、当該企業におけるデュアルシステム実施に関する計画を策定した場合には、15万円を支給（ただし、1事業所ごとに1回限り支給）。

【相手先の教育訓練機関を探している事業主】

コーディネート事業（本事業）により、企業の業種や要望等にそった教育訓練機関を探してマッチング。訓練開始後も相談に応じる等、一貫した支援を提供。

【その他】

ハローワークにおいてデュアルシステムに係わる求人を受け、若年休職者の紹介を実施。

企業と教育訓練機関での訓練の組み合わせパターンの例・・・

月単位で企業での実習訓練を行うパターン

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	学校			企業	学校			企業	学校			企業
2年目	学校	企業			学校	企業			学校	企業		

毎日午前・午後の指定した時間もしくは週単位で企業での実習訓練を行うパターン

	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金	
午前	学校						学校					
午後	企業						企業					

例) ホテル業であれば午前は専修学校等で接客マナー等の講習を受け午後は実際にホテルで仕事をする。

キャリア形成促進助成金（高率助成）については、現在支給要件を検討中ですのでご注意ください。

日本版デュアルシステムのお問い合わせは、労働課（3542 - 0386代）までお気軽にどうぞ！